

令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	MOUSA 1 (教芸)						
副教材等	高校生のための音楽研究ノート (教芸)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通じて学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや・実技テスト・筆記小テストで評価します。
- ・音楽の授業では様々な活動を行います。得意なこと、苦手なこと、人それぞれだと思いますが、お互いに教えあったり一緒に考えたりしながら、コミュニケーションの力・音楽で表現する力・楽譜から読み取る力などを身に付けます。積極的に参加することで、新たな発見があると思います。
- ・音楽が、生涯にわたって皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している (知識)</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現のために必要な技能を身に付け、演奏や創作の中で表している (技能)</li> </ul>	音楽を形づくっている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、表現意図をもった演奏を行ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	イメージをもつて豊かな声で歌おう	【歌唱】 校歌 Believe ふるさと	a:【知識】様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。 【技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:歌唱表現に関わる知識や技能を生かしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に活動に取り組んでいる。	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	リズムの特徴を感じ取り、表現を工夫しよう	【作曲】 Plymouth Rock 著作権について オリジナル作品の創作	a:【知識】音素材や、音を重ねた時の響きを表現したいイメージと関わらせて理解している。 【技能】リズムの反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けている。 b:創作に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に活動するとともに、著作権について考え、生活の中で著作物を守る意識を持っている。	小テスト ワークシート 発表	発表 ワークシート	観察 ワークシート
2 学期	オーケストラ入門	【鑑賞】 「ボレロ」	a:【知識】オーケストラで使われている楽器の特徴や、楽曲のリズムが持つ特徴および歴史的・文化的背景について理解している b:各楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現効果の関わりに関心を持ち、それらが生み出す特質や雰囲気を感受して聴いている。 c:主体的に音楽に触れ、味わって聴いている。	小テスト ワークシート	レポート ワークシート	観察 ワークシート

※令和4年度以降入学生用

	ギターアンサンブルに挑戦	<p><b>【器楽】</b> ギター演奏 「歓喜の歌」 「キセキ」</p>	<p>a: <b>【知識】</b> タブラチュアの読譜、運指など、表現に必要な知識を身に付けている。 <b>【技能】</b> コード、メロディともに響きを大切にして演奏している b: 各パートの役割（ベース・リズム・メロディ・ハーモニー）を知覚し、その働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: ギターの基本的奏法に関心を持ち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている</p>	小テスト ワークシート 発表	発表 ワークシート	観察 ワークシート
	響きを感じながら歌おう	<p><b>【歌唱】</b> 「やさしいあの子」</p>	<p>a: <b>【知識】</b> 発声の仕組み、および演奏に必要な楽語などの知識を身につけている。 <b>【技能】</b> 表現をするために必要な発声・発音・呼吸法などの技能を身に付けている b: 楽曲を形づくる要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、表現意図をもっている。 c: 協働的・主体的に活動に取り組んでいる。</p>	小テスト ワークシート 発表	発表 ワークシート	観察 ワークシート
3学期	日本とアジア音楽のつながり	<p><b>【創作】</b> アジアの音階で4～8小節の旋律を創作</p>	<p>a: <b>【知識】</b> アジア特有の音階についてリズム等、創作に必要な知識を身につけている。 <b>【技能】</b> 表現に必要な楽器の演奏、もしくは器材の操作を行う技能を身につけている。 b: アジアの伝統的な音階の特徴を知覚し、それらが醸し出す雰囲気を感じながら、どのように音楽を創るかについて表現意図をもっている。 c: 日本およびアジアの伝統音楽に触れ、それぞれの音階の特徴を味わうことで、イメージをもって音楽を創り出す学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	小テスト ワークシート 発表	発表 ワークシート	観察 ワークシート

※令和4年度以降入学生用

三線を弾いてみよう	<p>【器楽】 三線「海の声」</p>	<p>a:【知識】三線および三味線のルーツ・歴史についての知識と、三線の各部名称、ちんだみの方法などの知識を身に付けている。</p> <p>【技能】豊かな音で表現するための技能を身に付けている。</p> <p>b: 楽器の持つ特性・音色を知覚し、それが生み出す特性や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。</p> <p>c: 沖縄の音楽に興味を持ち、主体的に活動に取り組んでいる。</p>	ワークシート 実技テスト	実技テスト ワークシート	観察 ワークシート
-----------	-------------------------	--	-----------------	-----------------	--------------

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	高校生の美術 1 (日文)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

講義型の授業に終始することなく、感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野それぞれにおいて全員が主体的に思考し、活動できる授業づくりを行う。

2 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>【知識】美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。</p> <p>【技能】創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。</p>	<p>感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	美術とは	<p><b>【鑑賞】【絵画・彫刻】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> </ul> <p>教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロッキー</li> </ul>	<p>a: <b>【知識】</b> クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。</p> <p><b>【技能】</b> 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、効果的な構成で表現するための技能を身に付けている。</p> <p>b: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。</p> <p>c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。</p>	学習活動の様子	学習活動の様子	学習活動の様子
	色彩研究・絵画制作	<p><b>【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩基礎</li> <li>・色彩構成</li> </ul> <p>3×3のマスを3つ用意し、それぞれの中央マスに明度の違うグレイを着色する。着色した中央マスのグレイの明度と等しくなるよう残りの8マスを任意の色彩で着色する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵画制作</li> </ul> <p>同じ明度の色のみを使い絵画制作を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞</li> </ul> <p>作品プレゼン・ワークプリントにまとめる。</p>	<p>a: <b>【知識】</b> 絵の具など、表現形式の特性を理解し、形体、色彩などを工夫して表現しようとしている。</p> <p><b>【技能】</b> 形体、色彩などを工夫して表現するための技能を身に付けている。</p> <p>b: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。</p> <p>c: 絵の具を用いた絵画制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

※令和4年度以降入学生用

2学期	日本の美術、発見	<p><b>【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。</li> <li>・作品について調べる。</li> <li>・班ごとに発表する。</li> </ul>	<p>a: <b>【知識】</b> 日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について知識を深めている。</p> <p>b: 日本の伝統的な美術の表現の特質について考え、日本及び諸外国の美術文化について自分の考えを表現している。</p> <p>c: 日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。</p>	鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート
	木版画制作	<p><b>【絵画・彫刻】【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチ</li> <li>・制作 与えられたテーマをもとに下絵をおこし、用具の特性などを生かしながら制作を行う。</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul>	<p>a: <b>【知識】</b> 木版画の特性についての知識を身に付けている</p> <p><b>【技能】</b> 木の特性を使って効果的に表現する技能を身に付けている</p> <p>b: 表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: 木版画制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
	Tシャツ染め	<p><b>【絵画・彫刻】【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・染色技術を使った制作</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul>	<p>a: <b>【知識】</b> 染めの特性についての知識を身に付けている。</p> <p><b>【技能】</b> 藍やろうけつ、タイダイ等、染色の基本となる身近なマテリアルを効果的に表現するための技能を身に付けている。</p> <p>b: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。</p> <p>c: Tシャツ染めに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

※令和4年度以降入学生用

2～3 学期	うつつくり	<p>【絵画・彫刻】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作 陶芸作品</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul>	<p>a: 【知識】陶芸作品の制作過程についての知識を身に付けている。</p> <p>【技能】陶芸の特性を生かし、表現するための技能を身に付けている。</p> <p>b: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている</p> <p>c: 陶芸制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品</p>
	細密描写	<p>【絵画・彫刻】【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作 A4サイズの人物写真を紙に転写させ、鉛筆を使用し細密描写を行う。</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul>	<p>a: 【知識】鉛筆の特性についての知識を身に付けている。</p> <p>【技能】表現のために必要な技能を身に付けている。</p> <p>b: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品を味わっている。</p> <p>c: 細密描写作品の制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	書 I (光村)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

小中学校の書写から大きく発展させ、芸術として楽しめる書道をめざします。

「漢字かな交り」と「漢字一字」創作を中心とした二本柱で進めていきます。

身近に飾れる作品を創ることで達成感を味わい、生活の中で書を楽しむ心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) 書よさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができるようにする。

(3) 主体的に書の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	文字と書体の変遷による筆法の変化を知り、技法を体得する。  紙、筆、墨などの特性を知り、それぞれに対応する技術を身につける。  様々な表現方法や技法を学ぶ。	技術と精神の両面によって作品が出来るということに気づく。  良い作品と上手い作品の違いを考える。  様々な表現の方法を取り入れ、自分のものになっている。お互いの作品を正しく批評して鑑賞ができています。	書に関心を持っている。  意欲をもって作品の制作に臨んでいる。  作品にする言葉の選択に力を注いでいる。  自分に合った表現を工夫している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに合わせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	学習準備	篆刻	a: (知識) 篆刻の歴史、朱文、白文について理解している (技能) 刻字の技術を身に付けている・正しい押印の方法を身に付けている。 b: 印稿のデザインを工夫している。 c: 古典の印を鑑賞してその表現を取り入れる取り組みをしている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子
	古典 臨書	楷書 唐の四大家を学ぶ	a: (知識) 唐の四大家の書風の違いについて理解している。 毛筆書道の道具、姿勢、構えについて理解し、身に付けている。 b: (技能) 書風の違いを捉えた表現を構想し、工夫している。 c: 字形や攻勢を工夫して臨書しようとしている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子
		楷書 造像記	a: (知識) 楷書成立の歴史、造像記の背景について理解している。 b: (技能) 古典の特徴を捉えた表現、生命力の表現を構想し工夫している。 c: 線質を工夫し力強い表現の創造的活動に取り組もうとしている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子 相互評価
2 学期	古典 臨書	行書 蘭亭序	a: (知識) 行書成立の歴史、蘭亭序の背景を理解している。 b: (技能) 毛筆の機能と行書の運筆技術を身に付けている。 古典の特徴をとらえた表現、筆脈を理解し工夫している。 c: 文字の動きや流れを工夫し、主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子 相互評価

※令和4年度以降入学生用

	漢字創作	一字創作  表具 展示 鑑賞	<p>a: (知識) 様々な作家の文章を学び、鑑賞しそれらを画仙紙に創作していく。</p> <p>b: (技能) 文字の章法、構成、リズム、ストローク、タッチなどを知り、その技能を身に付けている。</p> <p>c: 自分の思いを伝えられる文字を探し、主体的に表現し、創造的に活動し取り組もうとしている。文字の意味や造形から作品のイメージや線質の表現などを工夫している。</p> <p>他者と協働し、表装作業を行っている。</p>	作品	作品製作の様子	作品ワークシート 相互評価
3学期	漢字仮名交じり創作	漢字仮名交じり書 課題創作  自由創作 表装 展示 鑑賞	<p>a: (知識) 様々な作家の文章を学び、鑑賞し、それらを画仙紙に創作していく。</p> <p>b: (技能)。文字の章法、構成、リズム、ストローク、タッチなどを知り、その技能を身に付けている。墨の濃淡、潤濁、余白、線質などの工夫をし、表現の効果を工夫している。</p> <p>c: 意欲的に作品にしたい言葉を探し、または、自分で文章を創作しようとしている。</p> <p>他者と協働して表装作業を行っている。相互評価をもとに、自己の作品を考察し、主体的に創造的活動に取り組もうとしている。</p>	作品	作品製作の様子	作品相互評価 レポート提出

※令和4年度以降入学生用

--	--	--	--	--	--	--

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

## 令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	MOUSAⅡ						
副教材等							

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通じて学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや・実技テスト・筆記小テストで評価します。
- ・音楽の授業では様々な活動をします。得意なこと、苦手なこと、人それぞれだと思いますが、お互いに教えあったり一緒に考えたりしながら、コミュニケーションの力・音楽で表現する力・楽譜から読み取る力などを身に付けます。積極的に参加することで、新たな発見があると思います。
- ・音楽が、生涯にわたって皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

## 2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。

(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## 3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している（知識）</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現のために必要な技能を身に付け、演奏や創作の中で表している（技能）</li> </ul>	<p>音楽を形づくっている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、表現意図をもった演奏を行ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に学習に取り組んでいる。</p>

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	豊かな声で歌おう	One more time, One more chance  SUN  歩いて帰ろう  糸	a:【知識】様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。 【技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:歌唱表現に関わる知識や技能を生かしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に活動に取り組んでいる。	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート
	ギターアンサンブル	イエスタデイワンスモア 大きな古時計など	a:【知識】タブラチュアの読譜、運指など、表現に必要な知識を身に付けている。 【技能】コード、メロディともに響きを大切に演奏している b:各パートの役割(ベース・リズム・メロディ・ハーモニー)を知覚し、その働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:ギターの基本的奏法に関心を持ち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート
	ボディパーカッション	Prelude3 グループで創作した曲	a:【知識】様々な表現形態によるリズム表現の特徴を理解している。 【技能】曲にふさわしい、リズムを叩く身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:リズム表現に関わる知識や技能を生かしながら、自己のイメージをもってリズム表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に活動に取り組んでいる。	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート

2 学期	名曲プレゼンテーション	各自が選んだアーティストの曲	<p>a:【知識】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を含めている。</p> <p>b:音色 歌詞、速度、旋律、リズムなどの構成を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽の良さや、美しさを深く味わっている</p> <p>c:紹介文を作成してプレゼンテーションすることやアーティストの表現を考察したり、関心を持ち、主体的、協働的に鑑賞の学習にとり組もうとしている。</p>	作品提出 発表	学習 プリント	観察 振り返り シート
	ギター弾き語り	天体観測	<p>a:【知識】コードの読譜、運指など、表現に必要な知識を身に付けている。</p> <p>【技能】コード、メロディともに響きを大切に演奏している</p> <p>b:メロディーとギター伴奏のバランスを知覚し、その働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: ギターの基本的奏法に関心を持ち、ギター弾き語りに主体的に取り組もうとしている</p>	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート
	合唱をしよう	上をむいて歩こう 友～旅立ちの時～	<p>a:【知識】発声の仕組み、および演奏に必要な楽語などの知識を身に付けている。</p> <p>【技能】表現をするために必要な発声・発音・呼吸法などの技能を身に付けている</p> <p>b: 楽曲を形づくる要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、表現意図をもっている。</p> <p>c: 協働的・主体的に活動に取り組んでいる。</p>	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート

3 学期	三線を弾こう	安里屋ユンタ 故郷 涙そうそう	<p>a:【知識】三線および三味線のルーツ・歴史についての知識と、三線の各部名称、ちんだみの方法などの知識を身に付けている。</p> <p>【技能】豊かな音で表現するための弾き歌いの技能を身に付けている。</p> <p>b: 楽器の持つ特性・音色を知覚し、それが生み出す特性や雰囲気などを感じながら、表現を工夫している。</p> <p>c: 沖縄の音楽に興味を持ち、主体的に活動に取り組んでいる。</p>	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート
	キーボードアンサンブル	シンコペーテッド・クロック	<p>a: キーボードの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する技能を身につけている。</p> <p>b: 音色、旋律、リズム、和音の特徴を知覚し、それが生み出す、特質や雰囲気を感じし自己のイメージをもって表現している。</p> <p>c: キーボードの奏法を身に付け、表現を工夫しながら、主体的、協働的に音楽活動に取り組もうとしている。</p>	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高校生の美術2（日文）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義型の授業に終始することなく、感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野それぞれにおいて全員が主体的に思考し、活動できる授業づくりを行う。

2 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（2）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（3）主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>【知識】美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。</p> <p>【技能】創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。</p>	<p>感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	<b>【鑑賞】【絵画・彫刻】</b> ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、学習イメージを持つ。 ・クロッキー	a: <b>【知識】</b> クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 <b>【技能】</b> 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、効果的な構成で表現するための技能を身に付けている。 b: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品	学習活動の様子 制作の様子 作品	学習活動の様子 制作の様子 作品
	絵画からの色彩抽出1	<b>【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】</b> ・制作 過去の名画から任意で一枚選び、その作品に使われている色味を抜き出し絵の具による色彩構成を行う。 ・相互鑑賞	a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。 b: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 c: 絵画からの色彩抽出に関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
	絵画からの色彩抽出2	<b>【デザイン】【鑑賞】</b> ・制作 抽出した色味のみを使用し、既存のプロダクト製品に彩色し再構築を行う。(平面) ・相互鑑賞	a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。 b: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 c: 絵画からの色彩抽出に関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

※令和4年度以降入学生用

2学期	日本の美術、発見	<p><b>【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。</li> <li>・作品について調べる。</li> <li>・班ごとに発表する。</li> </ul>	<p>a: <b>【知識】</b> 日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について知識を深めている。</p> <p>b: 日本の伝統的な美術の表現の特質について考え、日本及び諸外国の美術文化について自分の考えを表現している。</p> <p>c: 日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。</p>	鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート
銅版画制作	銅版画制作	<p><b>【絵画・彫刻】【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチ</li> <li>・制作</li> </ul> <p>与えられたテーマをもとに下絵をおこし、用具の特性などを生かしながら制作を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互鑑賞</li> </ul>	<p>a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。</p> <p>b: 銅版画の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。</p> <p>c: 銅版画制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
CM制作	CM制作	<p><b>【映像メディア表現】</b></p> <p><b>【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アピールしたいテーマごとにグループになり、アイデアスケッチ(絵コンテ)を作成する。</li> <li>・班で協力してカメラで撮影をする。</li> <li>・コンピューターで編集を行う。</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul>	<p>a: 映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。</p> <p>b: カメラやコンピューター、プロジェクターなどの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。</p> <p>c: 目的を基に写真やコンピューターなど映像メディアの特性を生かして表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

※令和4年度以降入学生用

3学期	うつわづくり	<b>【絵画・彫刻】【鑑賞】</b> ・制作 陶芸作品の制作過程を説明し、与えられたテーマをもとにイメージを膨らませ、スケッチを行う。スケッチをもとに土練から成型、本焼きまでを行う。 ・相互鑑賞	a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。 b: 陶芸の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。 c: 陶芸制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
	照明づくり	<b>【デザイン】【鑑賞】</b> ・制作 生活に身近な照明道具を和紙を用いて作る。デザイン基礎から制作までを学ぶ。 ・相互鑑賞	a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。 b: 和紙の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。 c: 照明づくりに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	書Ⅰ（光村）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰから発展させ、作品制作を楽しめる書道をめざします。

古典臨書と「漢字かな交り」創作を中心とした二本柱で進めていきます。

文字の歴史をたどりながら臨書学習をし、隷書体を中心に書の技術を学びます。普段使っている言葉や文章を作品にして、生活の中で書を楽しむ心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の創造的な活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

（2）書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。

（3）主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	文字と書体の変遷による筆法の変化を知り、技法を体得する。  紙、筆、墨などの特性を知り、それぞれに対応する技術を身につける。  様々な表現方法や技法を学ぶ。	技術と精神の両面によって作品が出来るということに気づく。  良い作品と上手い作品の違いを考える。  様々な表現の方法を取り入れ、自分のものになっている。お互いの作品を正しく批評して鑑賞ができています。	書に関心を持っている。  意欲をもって作品の制作に臨んでいる。  作品にする言葉の選択に力を注いでいる。  自分に合った表現を工夫している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	学 習 準 備	篆刻	a: (知識) 篆刻の歴史、朱文、白文について理解している (技能) 刻字の技術を身に付けている・正しい押印の方法を身に付けている。 b: 印稿のデザインを工夫している。 c: 古典の印を鑑賞してその表現を取り入れる取り組みをしている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子
	古 典 臨 書	毛筆書道の基本 文字と書体の変遷の歴史 甲骨文字 金文 小篆	a: (知識) 篆書から隸書、楷書、行書、草書への書体の変遷について理解している。 毛筆書道の道具、姿勢、構えについて理解し、身に付けている。 b: (技能) 書風の違いを捉えた表現を構想し、工夫している。 c: 字形や攻勢を工夫して臨書しようとしている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子
		隸書 曹全碑	a: (知識) 隸書成立の歴史、曹全碑の背景について理解している。 b: (技能) 古典の特徴を理解し表現することができている。 c: 逆入する起筆の技術を理解し、身に付けることによって強い線を引けるようになっている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子 相互評価
2 学 期	古 典 臨 書	行書 集王聖教序	a: (知識) 行書成立の歴史、集王聖教序の背景を理解している。 b: (技能) 毛筆の機能と行書の運筆技術を身に付けている。 古典の特徴をとらえた表現、筆脈を理解し工夫している。 c: 文字の動きや流れを工夫し、主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子 相互評価

※令和4年度以降入学生用

	漢字創作	<p>一字創作 二字熟語 四字熟語</p> <p>表具 展示 鑑賞</p>	<p>a: (知識) 様々な文字と熟語を学び、それを画仙紙に創作していく。</p> <p>b: (技能) 文字の章法、構成、リズム、ストローク、タッチなどを知り、その技能を身に付けている。</p> <p>c: 自分の思いを伝えられる文字を探し、主体的に表現し、創造的に活動し取り組もうとしている。文字の意味や造形から作品のイメージや線質の表現などを工夫している。</p> <p>他者と協働し、表装作業を行っている。</p>	作品	作品製作の様子	作品ワークシート 相互評価
3学期	漢字仮名交じり創作	<p>漢字仮名交じり書 課題創作</p> <p>自由創作 表装 展示 鑑賞</p>	<p>a: (知識) 様々な作家の文章を学び、鑑賞し、それらを画仙紙に創作していく。</p> <p>b: (技能)。文章の章法、構成、リズム、ストローク、タッチなどを知り、その技能を身に付けている。墨の濃淡、潤濁、余白、線質などの工夫をし、表現の効果を考察している。</p> <p>c: 意欲的に作品にしたい言葉を探し、または、自分で文章を創作しようとしている。</p> <p>他者と協働して表装作業を行っている。相互評価をもとに、自己の作品を考察し、主体的に創造的活動に取り組もうとしている。</p>	作品	作品製作の様子	作品相互評価 レポート提出

※令和4年度以降入学生用

--	--	--	--	--	--	--

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽表現	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書							
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通じて学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや・実技テスト・筆記小テストで評価します。
- ・音楽の授業では様々な活動をします。得意なこと、苦手なこと、人それぞれだと思いますが、お互いに教えあったり一緒に考えたりしながら、コミュニケーションの力・音楽で表現する力・楽譜から読み取る力などを身に付けます。積極的に参加することで、新たな発見があると思います。
- ・音楽が、生涯にわたって皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。

(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している（知識）</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現のために必要な技能を身に付け、演奏や創作の中で表している（技能）</li> </ul>	<p>音楽を形づくっている要素や、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、表現意図をもった演奏を行ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に学習に取り組んでいる。</p>

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	豊かな声で歌おう	One more time, One more chance  SUN  歩いて帰ろう  糸	a:【知識】様々な表現形態による歌唱表現の特徴を理解している。 【技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:歌唱表現に関わる知識や技能を生かしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に活動に取り組んでいる。	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート
	ギターアンサンブル	イエスタデイワンスモア 大きな古時計など	a:【知識】タブラチュアの読譜、運指など、表現に必要な知識を身に付けている。 【技能】コード、メロディともに響きを大切にして演奏している b:各パートの役割(ベース・リズム・メロディ・ハーモニー)を知覚し、その働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:ギターの基本的奏法に関心を持ち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート
	ボディパーカッション	Prelude3 グループで創作した曲	a:【知識】様々な表現形態によるリズム表現の特徴を理解している。 【技能】曲にふさわしい、リズムを叩く身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:リズム表現に関わる知識や技能を生かしながら、自己のイメージをもってリズム表現を創意工夫している。 c:主体的・協働的に活動に取り組んでいる。	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート

二学期	名曲プレゼンテーション	各自が選んだアーティストの曲	<p>a:【知識】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を含めている。</p> <p>b:音色 歌詞、速度、旋律、リズムなどの構成を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽の良さや、美しさを深く味わっている</p> <p>c:紹介文を作成してプレゼンテーションすることやアーティストの表現を考察したり、関心を持ち、主体的、協働的に鑑賞の楽習にとり組もうとしている。</p>	作品提出	学習 プリント	観察 振り返り シート
	ギター弾き語り	天体観測	<p>a:【知識】コードの読譜、運指など、表現に必要な知識を身に付けている。</p> <p>【技能】コード、メロディともに響きを大切に演奏している</p> <p>b:メロディーとギター伴奏のバランスを知覚し、その働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</p> <p>c: ギターの基本的奏法に関心を持ち、ギター弾き語りに主体的に取り組もうとしている</p>	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート
	合唱	上をむいて歩こう 友～旅立ちの時～	<p>a:【知識】発声の仕組み、および演奏に必要な楽語などの知識を身につけている。</p> <p>【技能】表現をするために必要な発声・発音・呼吸法などの技能を身に付けている</p> <p>b: 楽曲を形づくる要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、表現意図をもっている。</p> <p>c: 協働的・主体的に活動に取り組んでいる。</p>	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート

三学期	三線を弾こう	安里屋ユンタ 故郷 涙そうそう	<p>a:【知識】三線および三味線のルーツ・歴史についての知識と、三線の各部名称、ちんだみの方法などの知識を身に付けている。</p> <p>【技能】豊かな音で表現するための弾き歌いの技能を身に付けている。</p> <p>b: 楽器の持つ特性・音色を知覚し、それが生み出す特性や雰囲気などを感じながら、表現を工夫している。</p> <p>c: 沖縄の音楽に興味を持ち、主体的に活動に取り組んでいる。</p>	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート
	キーボードアンサンブル	シンコペーテッド・クロック	<p>a: キーボードの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、演奏する技能を身につけている。</p> <p>b: 音色、旋律、リズム、和音の特徴をを知覚し、それが生み出す、特質や雰囲気を感じし自己のイメージをもって表現している。</p> <p>c: キーボードの奏法を身に付け、表現を工夫しながら、主体的、協働的に音楽活動に取り組もうとしている。</p>	実技 テスト	学習 プリント	観察 振り返り シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2001
------	------

令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術表現	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書							
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義型の授業に終始することなく、感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野それぞれにおいて全員が主体的に思考し、活動できる授業づくりを行う。

2 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>【知識】美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。</p> <p>【技能】創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。</p>	<p>感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	<b>【鑑賞】【絵画・彫刻】</b> ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、学習イメージを持つ。 ・クロッキー	a: <b>【知識】</b> クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。 <b>【技能】</b> 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、効果的な構成で表現するための技能を身に付けている。 b: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品	学習活動の様子 制作の様子 作品	学習活動の様子 制作の様子 作品
	絵画からの色彩抽出1	<b>【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】</b> ・制作 過去の名画から任意で一枚選び、その作品に使われている色味を抜き出し絵の具による色彩構成を行う。 ・相互鑑賞	a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。 b: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 c: 絵画からの色彩抽出に関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
	絵画からの色彩抽出2	<b>【デザイン】【鑑賞】</b> ・制作 抽出した色味のみを使用し、既存のプロダクト製品に彩色し再構築を行う。(平面) ・相互鑑賞	a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。 b: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 c: 絵画からの色彩抽出に関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

※令和4年度以降入学生用

2学期	日本の美術、発見	<p><b>【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。</li> <li>・作品について調べる。</li> <li>・班ごとに発表する。</li> </ul>	<p>a: <b>【知識】</b> 日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について知識を深めている。</p> <p>b: 日本の伝統的な美術の表現の特質について考え、日本及び諸外国の美術文化について自分の考えを表現している。</p> <p>c: 日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。</p>	鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート
銅版画制作	銅版画制作	<p><b>【絵画・彫刻】【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチ</li> <li>・制作</li> </ul> <p>与えられたテーマをもとに下絵をおこし、用具の特性などを生かしながら制作を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互鑑賞</li> </ul>	<p>a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。</p> <p>b: 銅版画の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。</p> <p>c: 銅版画制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
CM制作	CM制作	<p><b>【映像メディア表現】</b></p> <p><b>【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アピールしたいテーマごとにグループになり、アイデアスケッチ(絵コンテ)を作成する。</li> <li>・班で協力してカメラで撮影をする。</li> <li>・コンピューターで編集を行う。</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul>	<p>a: 映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。</p> <p>b: カメラやコンピューター、プロジェクターなどの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。</p> <p>c: 目的を基に写真やコンピューターなど映像メディアの特性を生かして表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

※令和4年度以降入学生用

3学期	うつわづくり	<p><b>【絵画・彫刻】【鑑賞】</b></p> <p>・制作 陶芸作品の制作過程を説明し、与えられたテーマをもとにイメージを膨らませ、スケッチを行う。スケッチをもとに土練から成型、本焼きまでを行う。</p> <p>・相互鑑賞</p>	<p>a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。</p> <p>b: 陶芸の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。</p> <p>c: 陶芸制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>作品</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>作品</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>作品</p>
	照明づくり	<p><b>【デザイン】【鑑賞】</b></p> <p>・制作 生活に身近な照明道具を和紙を用いて作る。デザイン基礎から制作までを学ぶ。</p> <p>・相互鑑賞</p>	<p>a: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。</p> <p>b: 和紙の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。</p> <p>c: 照明づくりに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>作品</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>作品</p>	<p>制作の様子 制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>作品</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道表現	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道 I から発展させ、作品制作を楽しめる書道をめざします。

古典臨書と「漢字かな交り」創作を中心とした二本柱で進めていきます。

文字の歴史をたどりながら臨書学習をし、隷書体を中心に書の技術を学びます。普段使っている言葉や文章を作品にして、生活の中で書を楽しむ心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の創造的な活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

（2）書によさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができるようにする。

（3）主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	文字と書体の変遷による筆法の変化を知り、技法を体得する。  紙、筆、墨などの特性を知り、それぞれに対応する技術を身につける。  様々な表現方法や技法を学ぶ。	技術と精神の両面によって作品が出来るということに気づく。  良い作品と上手い作品の違いを考える。  様々な表現の方法を取り入れ、自分のものにしていく。 お互いの作品を正しく批評して鑑賞ができていく。	書に関心を持っている。  意欲をもって作品の制作に臨んでいる。  作品にする言葉の選択に力を注いでいる。  自分に合った表現を工夫している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	学 習 準 備	篆刻	a: (知識) 篆刻の歴史、朱文、白文について理解している (技能) 刻字の技術を身に付けている・正しい押印の方法を身に付けている。 b: 印稿のデザインを工夫している。 c: 古典の印を鑑賞してその表現を取り入れる取り組みをしている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子
	古 典 臨 書	毛筆書道の基本 文字と書体の変遷の歴史 甲骨文字 金文 小篆	a: (知識) 篆書から隸書、楷書、行書、草書への書体の変遷について理解している。 毛筆書道の道具、姿勢、構えについて理解し、身に付けている。 b: (技能) 書風の違いを捉えた表現を構想し、工夫している。 c: 字形や攻勢を工夫して臨書しようとしている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子
		隸書 曹全碑	a: (知識) 隸書成立の歴史、曹全碑の背景について理解している。 b: (技能) 古典の特徴を理解し表現することができている。 c: 逆入する起筆の技術を理解し、身に付けることによって強い線を引けるようになっている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子 相互評価
2 学 期	古 典 臨 書	行書 集王聖教序	a: (知識) 行書成立の歴史、集王聖教序の背景を理解している。 b: (技能) 毛筆の機能と行書の運筆技術を身に付けている。 古典の特徴をとらえた表現、筆脈を理解し工夫している。 c: 文字の動きや流れを工夫し、主体的に取り組もうとしている。	作品	作品 製作の 様子	作品 製作の様 子 相互評価

※令和4年度以降入学生用

	漢字創作	<p>一字創作 二字熟語 四字熟語</p> <p>表具 展示 鑑賞</p>	<p>a: (知識) 様々な文字と熟語を学び、それを画仙紙に創作していく。</p> <p>b: (技能) 文字の章法、構成、リズム、ストローク、タッチなどを知り、その技能を身に付けている。</p> <p>c: 自分の思いを伝えられる文字を探し、主体的に表現し、創造的に活動し取り組もうとしている。文字の意味や造形から作品のイメージや線質の表現などを工夫している。</p> <p>他者と協働し、表装作業を行っている。</p>	作品	作品製作の様子	作品ワークシート 相互評価
3学期	漢字仮名交じり創作	<p>漢字仮名交じり書 課題創作</p> <p>自由創作 表装 展示 鑑賞</p>	<p>a: (知識) 様々な作家の文章を学び、鑑賞し、それらを画仙紙に創作していく。</p> <p>b: (技能)。文章の章法、構成、リズム、ストローク、タッチなどを知り、その技能を身に付けている。墨の濃淡、潤濁、余白、線質などの工夫をし、表現の効果を考察している。</p> <p>c: 意欲的に作品にしたい言葉を探し、または、自分で文章を創作しようとしている。</p> <p>他者と協働して表装作業を行っている。相互評価をもとに、自己の作品を考察し、主体的に創造的活動に取り組もうとしている。</p>	作品	作品製作の様子	作品相互評価 レポート提出

※令和4年度以降入学生用

--	--	--	--	--	--	--

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「Joy of music」 (教育芸術社)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通じて学習します。</li> <li>・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや・実技テスト・筆記小テストで評価します。</li> <li>・音楽の授業では様々な活動を行います。得意なこと、苦手なこと、人それぞれだと思いますが、お互いに教えあったり一緒に考えたりしながら、コミュニケーションの力・音楽で表現する力・楽譜から読み取る力などを身に付けます。積極的に参加することで、新たな発見があると思います。</li> <li>・音楽が、生涯にわたって皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。</li> </ul>
---

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	イメージを持つて豊かな声で歌おう	【歌唱】 愛をとめないで 島人ぬ宝 Vaga luna, che inargenti など	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受し、表現している。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
1学期	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 ハンドベルアンサンブル 虹の彼方へ など	○	○	○		a: アンサンブルに関心を持ち、ハンドベルの音色・特徴を生かして演奏する。 b: リズムの特徴やフレーズをとらえ、表現する。 c: 表現したいことを伝えるための演奏技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
1学期	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 ギターアンサンブル 大きな古時計 3つのジムノペディ 第1番 など	○	○	○		a: アンサンブルに関心を持ち、ギターの音色・特徴を生かして演奏する。 b: リズムの特徴やフレーズをとらえ、表現する。 c: 表現したいことを伝えるための演奏技術を身に付けている。	

2学期	クラシックに詳しくなろう	【鑑賞】 8月末、音楽鑑賞会の予習	○			○	a:各楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気等を感じしながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
2学期	演劇と音楽	【歌唱・鑑賞】 オペラ座の怪人 レ・ミゼラブル	○	○	○	○	a:リズム・メロディ・登場人物の台詞等に注目し、様々な劇と音楽の関わりに興味を持って取り組んでいる。 b:楽曲を形づくる要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、表現意図をもっている。 c:音楽表現をするために必要な発声・発音・呼吸法・読譜などの技能を身に付けている。 d:音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す雰囲気等を感じながら創造的に味わって音楽を聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2学期	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 グループに分かれ、演奏したい曲のアレンジをしながらアンサンブル発表を行う	○	○	○		a:さまざまな楽器の奏法に関心を持ち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:各パートの役割(ベース・リズム・メロディ・ハーモニー)を知覚し、その働きを感じながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:読譜、運指など、表現に必要な技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	作曲にチャレンジしよう	<b>【創作】</b> オリジナル楽曲を作曲	○	○	○	a:世界のさまざまな音階に触れ、それぞれの特徴を味わうことで、イメージをもって音楽を創り出す学習に主体的に取り組もうとしている。 b:各音階の特徴を知覚し、それらが醸し出す雰囲気を感じながら、どのように音楽を創るかについて表現意図をもって いる。 c:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ・記譜の仕方等、必要な創作技能を身につけ、創造的に表現している。	
-----	-------------	---------------------------	---	---	---	---	--

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度      b:音楽表現の創意工夫  
 c:音楽表現の技能      d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

## 令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高校美術3 (日文)						
副教材等							

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

講義型の授業に終始することなく、感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野それぞれにおいて全員が主体的に思考し、活動できる授業づくりを行う。

## 2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション	<b>【鑑賞】【絵画・彫刻】</b> ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、学習イメージを持つ。 ・クロッキー	○			○	a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b: 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c: クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	絵画からの色彩抽出1	<b>【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】</b> ・制作 過去の名画から任意で一枚選び、その作品に使われている色味を抜き出し絵の具による色彩構成を行う。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 絵画からの色彩抽出に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 絵の具など、表現形式の特性を生かし、工夫して表現しようとしている。 c: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

	絵画からの色彩抽出2	<b>【デザイン】【鑑賞】</b> ・制作 抽出した色味のみを使用し、既存のプロダクト製品に彩色し再構築を行う。(平面) ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 絵画からの色彩抽出に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 絵の具など、表現形式の特性を生かし、工夫して表現しようとしている。 c: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	学習活動の様子  制作の様子 作品
	日本の美術、発見	<b>【鑑賞】</b> ・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。 ・班ごとに発表する。	○			○	a: 日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。 d: 日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。	学習活動の様子
2学期	銅版画制作	<b>【絵画・彫刻】【鑑賞】</b> ・スケッチ ・制作 与えられたテーマをもとに下絵をおこし、用具の特性などを生かしながら制作を行う。 ・相互鑑賞	○	○	○	○	a: 銅版画制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。 c: 銅版画の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。	学習活動の様子  制作の様子 作品

	CM制作	<p><b>【映像メディア表現】</b></p> <p><b>【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アピールしたいテーマごとにグループになり、アイデアスケッチ(絵コンテ)を作成する。</li> <li>・班で協力してカメラで撮影をする。</li> <li>・コンピューターで編集を行う。</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul>	○	○			<p>a: 目的を基に写真やコンピューターなど映像メディアの特性を生かして表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 映像メディアの特性を踏まえ、目的を基に主題を生成し、視点や動きなど視覚的要素を工夫して表現の構想を練っている。</p> <p>c: カメラやコンピューター、プロジェクターなどの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。</p> <p>d: 映像メディア表現の特質や視覚的効果を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>制作の様子</p> <p>作品</p>
3学期	うっわぐくらし	<p><b>【絵画・彫刻】【鑑賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作 陶芸作品の制作過程を説明し、与えられたテーマをもとにイメージを膨らませ、スケッチを行う。スケッチをもとに土練から成型、本焼きまでを行う。</li> <li>・相互鑑賞</li> </ul>	○	○	○		<p>a: 陶芸制作に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: 陶芸の特性を生かし、表現方法などを工夫して表現しようとしている。</p> <p>d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めようとしている。</p>	<p>学習活動の様子</p> <p>制作の様子</p> <p>作品</p>



## 令和5年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	書Ⅲ (教図)						
副教材等	なし						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<p>「漢字かな交り作品」創作と「漢字一字」創作を中心とした二本柱で進めていきます。</p> <p>壁面に展示する作品を制作して達成感を味わうとともに生活の中で書を楽しむ心情を育てます・</p>
---

## 2 学習の到達目標

<p>芸術としての書の表現と鑑賞の基礎的な能力を育て、日本独自の書の文化について理解を深める。</p> <p>生涯にわたり書を楽しむことができるようにする。</p>
--

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書に関心を持ち、作品を創る意欲に満ちているか、制作に真面目に向きあっているかを見る。	長期間にわたる作品制作のファイルによって、制作途中の発想、技術、完成度をみる。	力が筆毛を通じて紙にしっかり伝わるような技術を指導し、それが修得できているかを見る。	お互いの作品を見て感じたことを、言葉で表現できるかを見る。
評 価 方 法	観察 提出作品 合評会 準備と片付け パネル表装作品	観察 提出作品 作品掲示 発表	観察 提出作品	観察 作品掲示
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				



令和5年度 芸術科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	視唱ステップアップ（全音楽譜出版社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・ソルフェージュは「専門科目」です。より専門的に音楽へアプローチをするために必要な読譜力と表現力を鍛えるための授業です。
- ・学習内容は「新曲視唱・視奏（楽譜を読む力）」「聴音（音を聴いて再現する力）」2つの実技を行います。
- ・学習の到達度は、実技テストで評価します。
- ・ただ「楽譜を見て音を出す」のではなく、楽譜に書かれている内容を「どのように表現したいか」を考えながら取り組んで欲しいと思います。

2 学習の到達目標

音楽を構成する諸要素を正しくとらえ、音楽的に表現するための基礎的能力を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽を構成する諸要素に関心を持ち、聴音、新曲視唱、コールユーブンゲン等の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	リズム・メロディを知覚する	【コールユーブンゲン】 【新曲視唱】	○	○	○	○	a:学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感受し、表現している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d:他の生徒の演奏を聴き、表現の工夫について考える	観察 演奏の聴取
1学期	聴き取ったメロディを再現する	【単旋律聴音・高音部記号】	○	○	○		a:学習に主体的に取り組もうとしている。 b:リズムや音程を正確に聴き取ることができる。 c:聴き取った音を楽譜上に正確に記譜することができる。	観察 課題提出
2学期	リズム・メロディを知覚する	【コールユーブンゲン】 【新曲視唱】 過去の音楽大学入試問題を含め、実践的な課題をこなす。	○	○	○	○	a:学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感受し、表現している。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d:他の生徒の演奏を聴き、表現の工夫について考える	観察 演奏の聴取

2 学期	聴き取ったメロディを再現する	【二声聴音・四声聴音】 二つの異なるメロディを同時に聴き取る。また、四声聴音は密集・開離、両方の課題に取り組む。	○	○	○		a: 学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音程やハーモニーを正確に聴き取ることができる。 c: 聴き取った音を楽譜上に正確に記譜することができる。	観察 課題提出
3 学期	弾き歌い	【新曲視唱・伴奏付】	○	○	○	○	a: 学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質を感受し、表現している。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 d: 他の生徒の演奏を聴き、表現の工夫について考える	

※ 表中の観点について a: 音楽への関心・意欲・態度      b: 音楽表現の創意工夫  
c: 音楽表現の技能      d: 鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。